

本リーフレットの活用にあたって

国立赤城青少年交流の家
所長 松村 純子

上毛三山の一つである「赤城山」は、カルデラ湖を伴う一つの大きな火山体の名称です。近くにこのような自然環境を有することは、当施設にとって大きな財産です。

今年度、施設の立地を活かした「特色のあるプログラム」の開発が求められ、検討委員の皆様の協力を得て「赤城山を活用した教育プログラム」(小学生版)を開発いたしました。

是非、本リーフレットをご活用頂き、当施設を利用する子ども達の「体験を通した様々な学び」の一助となることを願っています。

本リーフレット作成のために、試行事業等にご協力いただきました小学校の皆様には厚くお礼申し上げます。

各検討委員から

前橋市教育委員会 学校教育課
副主幹兼指導主事 阿部 恵一 委員

上毛かるた「裾野は長し〜」で読まれている赤城山は、前橋の子どもたちにも故郷の山として親しまれています。そんな赤城山は学びの宝庫です。育みたい資質・能力に応じて様々な体験活動が用意され、各教科等の学習と体系的・継続的に実施できるプログラムとなっています。是非ご活用ください。

群馬大学医学部附属病院
副病院長 齋藤 繁 委員

群馬のシンボル赤城山を舞台とするプログラムです。便利すぎる環境で生活していると、生物としての能力が低下し、ストレス・病気への抵抗力も弱まります。そして、正常な成長・発達にも影響します。本プログラムに参加して、豊かな大自然を満喫しながら、ヒトと自然との繋がりを理解し、心も体もリフレッシュしましょう。

千葉市教育委員会 学校教育課
指導主事 佐々木 剛 委員

このプログラムは、登山と教科の学習を関連させ、事前学習→当日の活動→事後学習という流れで実施されています。そこでは、自然体験の楽しさや感動だけではなく、学校の勉強を現地で体験することで、学習の深まりも期待できます。このような活動は、赤城山だけでなく様々な場所でも行ってほしい内容です。

流山市教育委員会 学校教育部指導課
指導主事 杉橋 未穂 委員

「赤城山ってどんなところ？」「森にはどんな役割があるの？」「どうして自然は大切なの？」疑問の答えは、赤城山にあり！登山や散策を通して、赤城山ならではの多様な自然を満喫しながら、生き物と環境の関わりや、自然保護等について考えることのできるプログラムです。子どもも大人も発見がいっぱいです。

日本山岳会 群馬支部
事務局長 根井 康雄 委員

息を切らせ汗を流して山道を登り、山の美しさ、きびしさに触れ、大自然を五感で感じ取ってほしいと思います。また先生や友達とともに山を登ることで、思いやりの心や力を合わせる大切さも学びとってほしいと思います。山は人を強く、大きくしてくれる絶好の屋外教室です。

■問合せ先：国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山 27

TEL：027-289-7224

FAX：027-289-7226

HP：<https://akagi.niye.go.jp>

